

教材に関する教師および生徒からの意見

本資料は、地域社会保障教育推進事業報告書に記載されている「教材として効果的だったと思われる点」および「教材としての問題点・改善点」等をまとめたものである。

(1) 「重点とすべき学習項目」に対する意見

効果的と思われる点	<p>○<u>社会保障の全体の仕組みが簡潔にまとめられており、この1枚で社会保障について全体を概観でき、指導する側として知識を整理するために役立つとの意見があった。</u>社会保障制度については、授業でもあまり時間を確保できず、これまでに教員自身も簡単な準備で説明することが多かったとのことである。「重点とすべき学習項目」は教員自身、社会保障制度の全体像と何を説明したらよいかを確認できる教材として有効であったと思われる。(荒川商業)</p> <p>○<u>社会保障の全体像を把握する上で教員にとって参考になったとの意見があった。</u>(敬愛学園)</p> <p>○生徒に何を話すべきかキーワードを見つける上で、「社会保障を教える際に重点とすべき学習項目」は<u>教えるべき内容が網羅されているので参考になったとの意見があった。</u>(洗足学園)</p>
問題点等	(なし)

(2) 「重点とすべき学習項目の具体的内容」に対する意見

効果的と思われる点	<p>○生徒に対して<u>どのような点を重点的に説明したらよいか簡潔にまとめられており、社会保障制度や公的年金の意義、その仕組み等の話しを組み立てる上で参考になったとの意見があった。</u>(荒川商業)</p> <p>○<u>教科書よりも要点がまとまっており、さらに詳しくあったとの意見が担当教師からあった。</u>(桜修館)</p> <p>○社会保障に関する授業を組み立てる際に苦勞するのが、適切な資料集めだが、「重点とすべき学習項目の具体的内容」は<u>要点をまとめてあるために使いやすく、資料をあつめる手間を省ける。</u>(芥川)</p> <p>○<u>要点がまとまっているので使いやすい。</u>(茨木西)</p>
-----------	--

効果的と思われる点	<p>○これまで授業の中で社会保障制度、公的年金の意義及び仕組みについて具体的に説明することがなかったことから、<u>社会保障制度や意義や仕組み等の内容がわかりやすく、教員自身の知識を整理する上で役立った</u>との意見があった。(敬愛学園)</p> <p>○<u>各項目の内容が理解しやすく、公的年金の意義やその仕組み等を説明する上で参考になった</u>。(洗足学園)</p>
問題点等	<p>○<u>資料集、参考書、用語解説集のようなもの</u>があれば生徒の学習の一助になるのではないかと思われた。(桜修館)</p> <p>○社会保障制度を学ぶところでは、生徒にイメージを持たせやすくするために、<u>もう少し図を使う</u>などがあればさらに分かりやすくなるのではと思われる。(芥川)</p> <p>○資料として読む分には申し分ないが、授業で使うことを考えると、<u>もう少し項目立てが</u>されてあった方がより使い勝手が良い。(芥川)</p>

(対応案)

資料集や参考書、用語解説集など、補助的な教材については、各教科書会社において各社の教科書の内容に基づき作成されているところ、厚生労働省としても本教材等を教科書会社に情報提供する際に、社会保障についての理解を深めることができる WEB サイト（下記参照）や、『厚生労働白書』といった、資料集等を作成する際に参考となる情報をあわせて提供する。

<社会保障についての理解を深めることができる WEB サイト>

○厚生労働省HP (<http://www.mhlw.go.jp>)

「社会保障教育」ページ

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/shakaihoshou/kyouiku/index.html>

「社会保障・税一体改革」ページ

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/shakaihoshou/kaikaku.html>

「いっしょに検証！公的年金」ページ

<http://www.mhlw.go.jp/nenkenshou/>

○日本年金機構HP (<http://www.nenkin.go.jp>)

「学生のための知っておきたい年金のはなし」ページ

<http://www.nenkin.go.jp/n/www/service/detail.jsp?id=25467>

(3) 映像教材「社会保障って、なに？」に対する意見

<p>効果的と思われる点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○聴覚・視覚的にも生徒にインパクトが残り、2 限目、3 限目以降の<u>学習への意欲が高まった</u>。(蒲田) ○生徒の身近なところでの理解に繋がり、具体的な質問も多くでて、<u>自分から知ろうという姿勢がみられた</u>。(芥川) ○生徒にとってわかりやすく、授業の良かった点として、40 人中 17 人の生徒が「ビデオがわかりやすかった」と回答している。また教師のアンケートにも、「ビデオ教材は生徒にとって教科書やプリントよりも、インパクトがあり、しっかり見ていた。」とあり、<u>集中力と理解力の向上に繋がった</u>と思われる。(芥川) ○生徒に社会保障のイメージをもたせたことで、<u>理解の向上につながった</u>と思われる。(茨木西) ○<u>おさらいとして活用</u>することで、学習してきたことを考えながら視聴することができたのではないかと考える。(足立新田) ○年金の必要性や、これからの対応方法などについて知識を再確認する上で有効であった。(敬愛学園) ○「とてもわかりやすかった」という生徒の意見があった。教諭の意見も「イメージしやすくてわかりやすかった」というものであった。(明蓬館。他に荻窪、新渡戸、ルネサンスで類似意見あり)
<p>問題点等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○年金編と健康保険編の 2 編に分ける等、<u>細分化</u>されれば先生の使い勝手が更に向上するように思われた。(芥川) ○<u>公的年金制度と公的医療保険とを個別に説明できるような構成</u>になっていると活用しやすい、という意見があった。各テーマを単独で活用できるように再編集することも、今後の検討課題と思われる。(荒川商業。他に敬愛学園で類似意見あり) ○生徒にワークシートを配り要点を記入させながら視聴したので、「<u>文字がもう少し長い時間画面</u>にあると、生徒が記入しやすかった。」という意見があった。(芥川) ○イメージしやすくて良かったが、<u>少々長い</u>という意見が教師からあった。生徒に飽きさせないことを考慮すると、20 分程度に収まっていた方が、使いやすいと思われる。(明蓬館。他に芥川で類似意見あり)

問題点等	○冒頭部分クイズは、「問題それぞれに番号が振ってあったほうが良い」との意見が教師からあった。(茨木西)
------	---

(対応案)	
モデル授業で使用した後、年金編・健康保険編などチャプター分けを行い、細分化して使用する際の利便性を向上した。その他のご意見（映像時間、問題への番号付けなど）については、編集の関係上、今般の映像教材には盛り込めないため、今後の検討課題とする。	

(4)「社会保障の理念やあり方を考える」ワークシートに対する意見

効果的と思われる点	<p>○自由に答えられる設問が幾つか用意してあったので、<u>知識の詰め込みだけに終わらずに、考えをまとめながら学習できたのが効果的だった</u>と思われる。個人で考えさせたり、発表させたり、グループで考えさせたりと、授業で色々な使い方ができた。また、公民科で盛んになっている言語活動（ペアワーク・グループワーク・発表等）が、導入されている点が効果的と思われる。(蒲田。他に茨木西で類似意見あり)</p> <p>○他の国との比較や、社会保障制度でも政府・国民・市場のどこに負担があるかを考察する事ができ、<u>生徒が制度や仕組みについて、様々な考察を行うことができた</u>。(桜修館)</p> <p>○<u>グラフがわかりやすく、具体的な例が出ていたのでわかりやすい</u>という意見が生徒から多くあった。(桜修館。他に茨木西で類似意見あり)</p> <p>○活用マニュアルには教材の指導方法がわかりやすく載っていたため、授業を組み立てる際に役に立ったとの意見があった。(茨木西)</p>
問題点等	<p>○生徒から「F、M、Gやサービスと負担の割合の違いによる詳しい違い、<u>長所・短所などが知りたかった</u>」「<u>社会保障の充実している国では実際にどのような保障を行っているのか</u>」「<u>幸福度が高い国はどこなのか</u>」など、「理念やあり方ワークシート」で自分が選んだ答えに対して、現状はどうなのかを知りたいという意見が見られた。(桜修館)</p> <p>○生徒から「教材が冊子のような、<u>保管しやすいものだと嬉しい</u>です。」との意見があった。(桜修館)</p>

(対応案)

ワークシートの「活用マニュアル」に、「家族依存型・政府依存型・市場依存型」の特徴について記載されているところ、生徒の理解度や関心度に応じて授業の中で適宜活用する。

(5) 「身近な社会保障を学んでいく」ワークシートに対する意見

効果的と思われる点

- 家計簿に記入させる等、具体的な数字を使い学習することができた点が効果的だったと思われる。(蒲田)
- 貯金と年金の違いや物価の違いを、実際の数字で比較させることにより、生徒に年金のメリット、年金保険料を納める意義をわかりやすく教えている。生徒のアンケートにも、「お金を取られるだけだと思っていたが、印象が変わりました」「実際お金を払うのは大変だけど、得なこととか安心出来ることがいっぱいあるからいいと思う」「将来のために、自分もしっかり払っていかないといけないと思った」など保険料を納める意義を理解した回答が見られた。(芥川)
- 生徒に直接考えさせ自ら解答を記入させるように授業を進められるので、暮らしのやりくりや公的年金のメリット等に関心を持つことができた。教員から給与明細の説明を受けたことも、身近な例の中で公的年金の役割や保険料を納める意味を理解させることにつながったと思われる。(荒川商業)
- 細かな数値を示しながら具体性を持っており、使いやすく、生徒にとって社会保障制度を身近なものと感じさせることができた。(荒川商業)
- 年金や医療保険等の仕組みや問題点を説明する上でも、生徒に伝達したいことが簡潔にまとめられており使い勝手が良いという意見や、「わたしたちの生活と社会保障(イメージ)」の図も、ライフスタイルを経年的に示しながら社会保障制度の関わりが紹介されており、生徒にとって今後の生活を具体的にイメージすることができた、という意見もあった。(荒川商業)

効果的と思われる点	<p>○<u>給付と負担の両面から学習できるので、なぜ保険料を納めるかが理解できた生徒が多かった。</u>「年金って国に取られるってイメージがあったけど、実はそうじゃなくて私たちが急な病気や怪我、収入がなくなった老後になっても安心して暮らせるように今働けるうちに年金を払うっていうすごくすてきな制度だと思います。」「負担以上のものが貰えるのでいい制度だと思った」など、年金について自分のお金を取られるだけというマイナスイメージを持っている生徒に対して、年金の意味と負担する意義を理解させることができた。(足立新田)</p>
問題点等	<p>○スクリーンに映して授業を展開する機会が多かったために、後方からは文字が見つらいという意見があった。また、授業を行った教師もアンケートで、「身近な社会保障ワークシート」は、情報がありすぎて、見にくいところを改善したい」と回答している。このことから、ワークシートは<u>1シートの情報量を少なくしたほうが、より授業で使いやすいのではないか</u>と思われた。(足立新田)</p> <p>○スクリーンに映して授業を展開する事を考えると、「身近な社会保障ワークシート」は<u>1シートの情報量を少なくしてレイアウトを大きくしても良いように</u>感じられた。(蒲田)</p>

(対応案)

教室の広さや生徒の人数、スクリーンの大きさ等に応じて、適宜ワークシートの文字数等を調節できるよう、加工可能なファイルをHPに掲載する。

(6) 年金教材「10個の「10分間講座」」に対する意見

効果的と思われる点	<p>○冒頭で使い、<u>生徒に彼らも持っているイメージとのギャップを気づかせることができ、これから学習する内容に興味を持たせることができる</u>ことが効果的だと思われる。(蒲田。他に荻窪で類似意見あり)</p> <p>○「10個の「10分間講座」」をはじめ、提供された教材によって、<u>これまで誤解していたことや知らなかったことを知ることができ、教師自身も社会保障に対して改めて考えるきっかけになった。</u>(蒲田)</p> <p>○<u>問題が生徒にとって身近なものであったために、分かりやすく、解説もしっかりとついていたために生徒が理解しやすかった。</u>(桜修館。他に敬愛学園で類似意見あり)</p>
-----------	--

効果的と思われる点	<ul style="list-style-type: none"> ○「クイズが非常に面白く、また簡単な質問なのに意外とわからないところが、うまいな、と思いました。」との意見が生徒からあった。生徒の注意をうまく喚起したことが、効果的だと思われた。(桜修館) ○クイズ形式なのでゲーム感覚で取り組むことができるので、長時間集中することが難しい生徒に対して授業を組むうえで効果的であったと思われる。(芥川) ○高校生も興味・関心を持てるように構成されているとの意見があった。(敬愛学園) ○生徒の自習用にも活用できて便利との意見を得られた。(洗足学園)
問題点等	<ul style="list-style-type: none"> ○P6の解説の部分で、年金は「保険」と書いてあるが、民間と異なり、<u>皆加入できることも載せておく</u>と良い。(茨木西) ○担当教員からは、「<u>年金について、なぜ未納問題が起こるのか、という点について触れていない</u>。今後の重要な課題であることを明記したほうがよい。」との指摘があった。(洗足学園) ○年金記録問題や、保険料の払い込み方法、払込猶予制度の利用方法など、<u>もう少し具体的な解説があると、生徒もより関心を持てるのではないかと</u>の指摘があった。(敬愛学園) ○「解答はわかりやすい」という声がある一方で、「<u>ボリュームが多すぎる</u>」という意見もあった。(ルネサンス) ○スクリーンに投射して使用することを想定して、<u>モノクロでも見やすい画像に</u>すると更に使い勝手が良くなるように思われる。(桜修館)

(対応案)

「(年金が) 皆加入できることも載せておく

と良い。」との意見については、「日本の公的年金制度が、20歳以上のすべての国民が加入する「国民皆年金」となっている」旨を追記する。さらに、スクリーンに投射しても生徒が見やすいようにカラー化する。

(7) 「年金」ワークシートに対する意見

効果的と思われる点	<p>○今後生徒が社会人となり、<u>暮らしのやりくりや社会保障のメリット、保険料の払い込み等を考える上で参考となる教材</u>であり、生徒自身が自ら取り組んで解答し、それについて互いに発表しあうこともできる教材として効果的と思われる。(荒川商業)</p> <p>○「公的年金ワークシート」の中にある「ファクトシート」は、<u>生徒に伝えたい点(公的年金制度の理念や負担と給付、貯蓄と公的年金との比較、少子高齢化への対応など)</u>が図式を交えてコンパクトに整理されており、教員の説明を聞きながら、シートに書き込む生徒が多く観察でき、説明する教員側にも聞く生徒側にも好評だった。(洗足学園)</p> <p>○月々支払う保険料などが細かく載っており、生徒にとっては自分がいくら支払うのかがわかり、<u>リアリティを感じる</u>ことができたと思われる。(洗足学園)</p>
問題点等	<p>○生徒へのアンケート調査によると、公的年金ワークシートの「公的年金制度をより理解するためのファクトシート」の図表については、一部の生徒から<u>細かすぎてわかりにくい</u>との意見があった。これについて担当教員に確認したところ、“生徒間に理解力のばらつきがあるため、一部の生徒には教材のレベルが高度過ぎたかもしれない”ということであった。(荒川商業)</p>

(対応案)

本ワークシートは比較的詳しい情報を記載し、より発展的な学習に使用できるようになっている。年金についての基礎的な学習には『10個の「10分間講座」』なども活用し、生徒の理解度や関心度に応じて適宜使い分ける。

(8) その他の意見

問題点等	<p>○学校現場ではA4サイズでなく、<u>B5サイズが基準</u>になっており、現在の教材では使い勝手が悪い。パワーポイントやPDF資料も、B5印刷した場合、読める文字サイズにしておく必要がある。”との意見があった。(洗足学園)</p> <p>○様々なニーズに対応できる教材を何種類も提供することには無理があり、学校現場で多少時間をかければ<u>担当教員が自由に編集できるように、データとして提供</u>していくことも検討する必要があるだろう。(洗足学園)</p> <p>○授業で学習する内容を、家庭で生徒に調べさせてレポート形式で提出させたりする調べ学習に対応したもの、例えば<u>年金について調べるのに便利なホームページの紹介、資料の紹介</u>などがあれば、さらに発展した学習が行えるように感じた。(芥川。他に足立新田で類似意見あり)</p> <p>○授業後も社会保障教育に取り組みたいと回答した生徒が、61%と過半数いるので、教材の提供以外にも<u>生徒が情報にアクセスすることができる仕組み</u>や、例えば、<u>持ち帰って読めるような小冊子</u>のようなものがあれば先生・生徒双方にとって便利になるのではと思われた。(足立新田)</p>
------	---

(対応案)

用紙サイズや生徒のレベルに応じた調整等を教員ができるよう、加工可能なファイルを厚生労働省HPに掲載する。また、教材を加工した例として、モデル授業で先生方が検討会より提供した教材を基に作成したオリジナル教材についても厚生労働省HPに参考掲載する。

(参考)

生徒がより詳細な情報を自ら調査する“調べ学習”に対応できるWEBサイトは下記が挙げられる(再掲)。

○厚生労働省HP (<http://www.mhlw.go.jp>)

「社会保障教育」ページ

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/shakaihoshou/kyouiku/index.html>

「社会保障・税一体改革」ページ

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/shakaihoshou/kaikaku.html>

「いっしょに検証！公的年金」ページ

<http://www.mhlw.go.jp/nenkinkenshou/>

○日本年金機構HP (<http://www.nenkin.go.jp>)

「学生のための知っておきたい年金のはなし」ページ

<http://www.nenkin.go.jp/n/www/service/detail.jsp?id=25467>

※その他、各自治体のHPも参照いただきたい。